

豊岡ならではのアートを

まとめて体験

7月27日、豊岡市民プラザで、豊岡のアートな体験が一堂に会する」とよおかアート縁日」を開催しました。

城崎国際アートセンター滞在アーティストと空想の生き物を描いたり、植村直己さんの残したコトバにイラストを付けたりした他、小学生演劇ワークショップの発表公演などを実施。馬頭琴コンサート後の演奏体験も人気でした。

本市は、文化芸術によるまちづくりで「小さな世界都市ーLocal&Global Cityー」の実現を目指します。

《問合せ》文化振興課 ☎23-11160



▲イタリア児童劇団のダリオさんと描いた生き物を切り取り、貼り合わせることで空想の生き物を作成

スイスポート代表も

事前合宿決定

8月6日、豊岡稽古堂で、東京2020オリンピックの事前合宿に関連して、ドイツポート連盟と友好宣言を、また、スイスポート連盟と事前合宿の協定を締結しました。

ドイツとは、昨年11月に事前合宿の協定を締結しており、さらなる友好関係の構築などを願い、友好提携しました。また、スイスとは、代表チームが本市で事前合宿を実施することを正式に決定し、協力内容や交流事業などの基本事項を確認しました。

《問合せ》スポーツ振興課 ☎21-9023



▲(右から)スイスポート連盟ディレクター・ストファーさん、中貝市長、ドイツポート連盟会長・カイデルさん、大阪・神戸ドイツ連邦共和国総領事館首席領事・メアケッターさん

市政 ニュース

〈主な市政の動き〉

〔7月〕

- 16日・KDDI(株)からコウノトリ生息地保全活動道具の寄付
- 18日・教育懇談会(日高、22日・出石、23日・城崎、25日・但東、29日・豊岡(港)、8月6日・豊岡(港除く)、8日・竹野)
- 21日・英語遊びサマースクール(27・28日、8月3・4日)
- 22日・プチ勤務のPR用パンフレットの作成
- 24日・人事担当者向けワークインベーションセミナー

〔8月〕

- 1(基礎編)
- 27日・とよおかアート縁日
- 28日・第3回豊岡市消防操法大会
- 30日・豊岡市感謝状贈呈式
- 3日・遊んで学ぶ親子防災教室(4日)
- 5日・イングリッシュ・サマーマキヤンプ(〜7日)
- 6日・「ドイツポート連盟との友好宣言書」および「スイスポート連盟との協定書」調印式
- 9日・子育てしながら働くための講座



金品を寄付していただいた方に感謝状を贈呈

7月30日、本庁舎2階大会議室で、2019年度豊岡市感謝状贈呈式を開催しました。これは、18年4月1日から19年3月31日までに、市に金品(30万円以上300万円未満)の寄付をいただいた20組の個人または団体に感謝の意を表するために行ったものです。

感謝状を贈呈した方は、次のとおりです(敬称略)。

《問合せ》秘書広報課 ☎23-11114

- **コウノトリ生息地保全**
- ▽ KDDI(株)(大阪市)
- **コウノトリ基金**
- ▽ 木下酒造(有)(京丹後市)
- ▽ JXTGエネルギー(株)(千代田区)
- ▽ (株)オフテクス(神戸市)
- ▽ たじま農業協同組合(九日市上町)
- ▽ (株)トーホーストア(神戸市)・サントリール酒類(株)神戸支店(神戸市)・サントリールフーズ(株)近畿支社(大阪市)・カルビー(株)中日本事業本部近畿支店(大阪市)・日清食品(株)営業本部大阪営業部神戸営業所(神戸市)・(株)明治関西西支社(神戸市)・明治フレッシュネットワーク(株)近畿支社(大阪市)
- **奨学金資金・学校教育振興**
- ▽ 土生田幸延(竹野町竹野)
- **学校教育振興**
- ▽ 村岡正司(大阪府河内長野市)
- ▽ (株)ニコス(日高町国分寺)
- ▽ 友政克己(神戸市)
- **学校教育振興・社会教育振興**
- ▽ (株)オーク(日高町上郷)
- ▽ 大石建設設備(株)(但東町矢根)
- **社会教育振興**
- ▽ 東海バネ工業(株)(神美台)
- ▽ (株)東豊精工(下陰)
- **文化芸術振興**
- ▽ 後藤喬雄(大津市)
- **社会奉仕**
- ▽ 豊岡ライオンズクラブ(寿町)
- **防災力の向上、福祉、医療の充実等**
- ▽ 徳永 正(大阪市)
- **地域振興**
- ▽ 信和化成(株)(東大阪市)
- ▽ 阪口春男(西宮市)
- ▽ (株)但馬銀行(千代田町)



中貝市長の徒然日記 ⑭

アヴィニヨン紀行

「豊岡演劇祭は、アジアのアヴィニヨン演劇祭を目指す」と平田オリザさんが言われたので、財布をはたいて行ってきました。

アヴィニオンは、南フランスにある人口9万人ほどの都市で、毎年7月、約1カ月に渡り世界最大の演劇祭が開かれています。期間中、約10万人の人が訪れます。

圧倒されました。足を踏み入れるや否や、一気に演劇リゾートです。中世の城壁に囲まれた直径1〜1.5kmほどの街が、演劇とワインとビールと料理とおしゃべり一色に塗り込められています。

演劇祭には、ダンスもありです。フランス語は分からないので、ダンスの演目を中心に選び、旅の疲れと酔いで落ちてきそうな顔を懸命に開けて、舞台を楽しみました。

豊岡は、「演劇のまち」を目指すことにしています。城崎国際アートセンターには、演劇やダンスの一流のアーティ

ストが、続々と滞在制作にやってきました。日本を代表する劇作家・平田オリザさんは、9月末、江原区に移り住んでこられます。平田さんが主宰する劇団「青年団」の拠点劇場も、今年度江原駅近くに整備される予定です。さらに、

演劇・ダンスと観光を学ぶ4年制の専門職大学を市内に整備する構想が兵庫県で進められており、秋には国への認可申請がなされる予定です。

演劇の条件が整いつつある今、豊岡で国際演劇祭を開催することにしました。

人口減少が止まりません。東京は若者を地方から吸収し続けています。豊岡が「豊岡に暮らす突き抜けた価値」を創造しない限り、若者の流出を和らげ、まちを元気にすることはできません。コウノトリの野生復帰、コウノトリ米の輸出、外国人宿泊客の急増等、「小さな世界都市」を牽引する事業の次の弾が、演劇とダンスです。若者がワクワクするまちを創る作戦です。

第0回の豊岡演劇祭は、今年9月上旬、開催されます。